

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

10月号



Yamaga City Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420(代)
FAX 0968-44-0071(連携室直通)

令和8年熊本地震における災害支援について

このたび令和8年熊本地震により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

発災による県内各地での医療情勢のひっ迫、避難所等における支援スタッフの不足が続いておりました。そのような中、当センターでは、被災地等へ職員を派遣しております。

令和8年熊本地震に対し7月29日～31日に熊本DMAT（隊員4名）として熊本県央南DMAT活動拠点本部で活動を行ってきました。

本部では管轄エリア全医療機関の被災状況や支援の必要性、需要の把握、支援対応の調整を行うとともに、高齢者施設や避難所での需要把握や支援調整を行いました。10年前との大きな違いは酷暑でした。高齢者施設で多数の熱中症患者が発生する状況でしたが、施設へのDMAT派遣、DMATによる医療機関への搬送調整を経て、死亡者をだすことなく対応完了となりました。

急性期のDMAT活動終了後も、亜急性期・慢性期に県DMAT調整本部や、DRAT（リハビリ）、感染管理ネットワーク（ICN）への職員派遣も引き続き行っています。

最後に、被災された方々が一日も早く日常に戻れることを願っております。

（DMAT医師 吉岡 明子）

令和8年熊本地震の被災地支援のため、8月5日から8月7日の間、災害支援ナースとして氷川町の避難所で活動をさせていただきました。

派遣先の氷川町公民館では高齢者を含む約40名が避難されており、余震もあり断水が続く環境下での生活を送られていました。活動期間中は、DMATやJMAT、行政スタッフと連携し二次健康被害の防止に努めました。避難されている方々の健

康チェックや夜間巡視、感染症対策といった生活環境の整備を中心に行いました。不安な日々を過ごされている被災者の声に耳を傾け、看護の専門性を活かして心身の健康維持に努めました。

今回の貴重な経験を院内でも共有し、今後の災害看護や日常の医療活動に活かせるよう一層努力してまいります。

（災害支援ナース 看護師 木野 佳代）

この度令和8年熊本地震におけるJRAT（日本災害リハビリテーション支援協会）の災害支援活動に関らせていただきました。

私は熊本県庁防災センター3階の保健医療福祉調整本部に設置されたJRAT調整本部にてロジスティック業務を担当しました。JRATでは他団体と連携して災害関連死を防ぐ活動を行いました。県内外の支援チームが避難所を訪問し、被災者が生活しやすい環境整備を行うとともに、体を動かす機会づくりや、安全な動作指導を行うことで生活不活発病予防や転倒防止、既存症状の悪化防止に取り組みしました。

被災された皆様が一日も早く安心した生活を送れますよう心よりお祈り申し上げます。

（JRAT作業療法士 牛島 由紀雄）

今回、令和8年熊本地震における被災者支援のため、熊本県庁DMAT調整本部へ業務調整員として派遣されました。

調整本部では、DMATの活動状況の把握や情報収集・整理、関係機関との連絡調整など、医療支援活動を支える業務に携わりました。活動を通して、平時からの備えと多職種・関係機関との連携の重要性を改めて実感しました。

また、私自身初めての派遣でもあったため、多くのことを学ぶことができました。



被災された方々が一日も早く安心した生活を取り戻せることを願い、今回の経験を今後の災害対応に活かしていきたいと思います。

(DMAT業務調整員 診療放射線技師 福島 大輝)

さらに、県南地域の被災病院からの転院要請に応じ、県南地域の被災病院からの入院患者3名受入れ、当センターでの診療支援を行っております。引き続き鹿本地域の災害拠点病院としての役割を果たすとともに、県内の医療提供体制の維持に必要な活動に取り組んでまいります。

緩和ケア夏祭り

令和8年8月21日に、暑い夏のひとときを楽しく過ごしていただこうと、今年も緩和ケア病棟で夏祭りを開催しました。

緩和ケア病棟では、患者さんやご家族が入院中でも季節を感じていただけるように、時期に合わせたイベントを行っています。夏祭りの1週間前には患者さんやご家族でうちわ作りに取り組みました。当日は会場を夏らしい飾り付けで彩り、普段とは少し違った雰囲気の中で、患者さんやご家族、スタッフの笑顔や明るい声があふれ、参加された皆さんに夏の季節を感じていただく機会となりました。催し物としてボランティア活動をされている患者さんによるスコップ三味線が披露されました。患者さんやご家族、スタッフが曲に合わせて手拍子をしながら会場全体が笑いのある温かな雰囲気に包まれていまし



た。また、縁日をイメージしたヨーヨー釣りや射的ができるようにしました。ゲームに挑戦する皆さんの真剣な表情や、成功すると嬉しそうな表情が印象的でした。屋台の代わりに栄養科の協力でフルーツの盛り合わせ・ゼリーの軽食を用意しました。スタッフによるたこ焼き器で作った鈴カステラやかき氷を食べながら、会場を暗くしランプを灯した中で花火大会の上映を行いました。参加された皆さんからは、「楽しかった」「夏祭りの雰囲気を家族と一緒に味わうことができてよかった」といった嬉しい声が聞かれました。短い時間ではありましたが、皆さんにとって心に残る楽しい夏の思い出になったのではないのでしょうか。

今回の夏祭りを通して、季節の行事を楽しむことの大切さや、人と人とのふれあいの温かさを改めて感じることができました。これからも緩和ケア病棟では、患者さんやご家族の皆さんにとって「今」という大切な時間を安心して過ごしていただける環境づくりに努めるとともに、心温かな看護を提供していきたいと思います。

(緩和ケア病棟看護師 廣松 ひろ子)



医療最前線 (178)

心不全について

循環器内科医長 清水 博

わが国における死因別死亡総数として、心疾患による死亡は悪性新生物（がん）に次いで第二位の原因で、心疾患の中で心不全は最も死亡数が多いと言われております。心不全の基礎疾患としては、代表的なものとして虚血性心疾患、弁膜症、不整脈、高血圧、心筋症、心房細動などが挙げられ、高齢化に伴い心不全患者数も増加することが予想されます。2026 ESC心不全ガイドラインが公表されましたが、今回アップデートされた点などをお知らせします。

1. LVEF（左室駆出率）に基づく分類のうち、ボーダーラインであったHFmrEF（LVEFが40%～50%）が削除され、HFrEF（LVEFが50%未満）とHFpEF（LVEFが50%以上）の2種類になりました。
2. GDM（ガイドラインに基づく薬物治療）が見直され、新たにFMT（基礎的薬物治療）、AMT（追加的薬物治療）、GDIT（ガイドラインに基づく介入治療）に再定義されました。

HFrEFのFMTとして、ファンタスティック・フォーとして推奨されている、 β 遮断薬、RAS阻害薬（ARNI/ACE阻害薬）、MRA（ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬）、SGLT2阻害薬の4種類が推奨されました。

HFpEFのFMTとして、MRA、SGLT2阻害薬の2種類が推奨されました。

3. 左室駆出率が改善されて心不全症状が消失しても、今までの心不全の薬物治療を継続することが推奨されました。
4. 安定した心不全患者にとって禁忌でない限り、運動をベースとした心臓リハビリテーションの観点から個別化された運動トレーニングが推奨されています。

その他、急性心不全（acuteHF）から非代償性心不全（decompensation）へ置き換えられました。日々心不全についての診断、治療などがアップデートされており、心不全での入院紹介の患者さんがおられましたら当科までご相談いただければ幸いです。



〔画像作成：ChatGPT(OpenAI)〕

外来診療予約申込票（診療情報提供書）の書式が新しくなります。
新様式はホームページ（医療関係者の方へ）に掲載しております。

令和8年度 山鹿市民医療センター 緩和ケア研修会のご案内

- 開催日時 令和8年11月29日（日）
開催場所 山鹿市民医療センター リハビリテーション室
対象者 がん診療に携わるすべての医療従事者（※2年以内にe-learningの講義を受講終了している方）
締め切り 令和8年10月30日（金）
申込 ホームページにあります参加申込書に必要な事項を記入し、e-learningの受講修了証を添付のうえお申込みください。
提出先 山鹿市民医療センター 地域医療連携室 FAX0968-44-0071

外来担当医表

10月

◎診療受付時間は、8:30(予約再診の方は8:00)～11:00

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※ 後藤由比古	—	※ 後藤 英介	—	※ 後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	※ 宮本 英明
消化器内科	梶原 雅人	竹熊 梨祐	本原 利彦	梶原 雅人 竹熊 梨祐	本原 利彦
内分泌・代謝内科 (予約制)	西田 周平	—	西田 周平	—	西田 周平
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	※ 中山 智子 清水 博	清水 博 大庭 圭介	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	横田 秀峰 樽美 備一 松下 祥大	工藤 智志 樽美 備一 松下 祥大/坂上 諒明	手術 (担当医)	工藤 智志 横田 秀峰 坂上 諒明	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透(新患のみ) 石河 隆敏 / 増田 稔郎 遊佐 俊彦 / 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 増田 稔郎 遊佐 俊彦
乳腺外科(予約制)	—	※ 富口 麻衣	—	—	—
泌尿器科	中村 圭輔	手術(担当医)	今藤 淳之助	※ 神波 大己 教授	中村 圭輔
小児科	小澄 将士	小澄 将士	小澄 将士 (午後：予防接種)	小澄 将士(午前) ★※ 石井 真美(午後)	小澄 将士
*小児科の午後診療は、16:00受付終了					
耳鼻咽喉科(予約制)	—	非常勤医師	—	非常勤医師	—
眼科	手術	特殊再来のみ	古島 京佳	古島 京佳	古島 京佳(午前) ★非常勤医師(午後)
産婦人科	非常勤医師(午後) (受付14:00～16:00)	※ 片渕 美和子(午後) (受付13:00～16:00) 婦人科・思春期・更年期	—	非常勤医師(午前) ★非常勤医師(午後) (受付14:00～16:00)	非常勤医師 (午前)
緩和ケア内科(予約制)	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	—
総合診療科(予約制)	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	泌尿器科医(午前) 吉岡 明子(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	奇数週：担当医 偶数週：吉岡 明子	外科医(午前) 消化器内科医(午後)
健診	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂

※ 非常勤医師です。 ★ 第2、第4のみ診療となります。

◎当日の受診に関する相談を除くお電話は、平日14時から17時までが受付となります。

特殊・専門外来【予約制】

10月

◎特殊・専門外来の診療時間等詳細については、各診療科にお尋ねください。

名 称	担 当 医 等	実 施 日	診察場所
外 来 化 学 療 法	担 当 医	毎週 火曜・水曜	各 診 療 科
	※ 宮 本 英 明	毎週 金曜（がん薬物療法専門医）	
小 児 科 予 防 接 種	小 澄 将 士	毎週 水曜（受付時間13:30～16:00）	Aブロック
ス ト ー マ 外 来	担 当 医	毎月 第3水曜（午後）	Bブロック
P E G 外 来	担 当 医	毎月 第2水曜（午後）	
セカンドオピニオン外来	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります

◆最新の担当医表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター



〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
 TEL 0968-44-2185(代)
 FAX 0968-44-2420(代)
 FAX 0968-44-0071(連携室直通)
<http://yamaga-medical-center.jp>